

谷戸沢処分場のフクロウが今年も巣立ちました！ ～フクロウのヒナが、日の出の森の中へ～

東京たま広域資源循環組合では、3月24日、フクロウが谷戸沢処分場に営巣したことをお伝えしましたが、ヒナが孵(かえ)り、5月14日、無事に日の出の森の中へ巣立ちましたのでお知らせします。

なお、この様子は組合のホームページでご覧いただけます。



フクロウなどの猛禽類が営巣・子育てすることは、処分場内及びその周辺地域の生態系の豊かさを示す指標となります。これからも、当組合では鳥類や動植物のモニタリングを継続的に行うとともに、豊かな自然環境の保全・創出に努めてまいります。

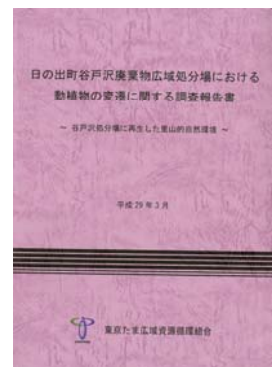


巣箱から姿を見せるフクロウのヒナの様子 (5月14日撮影)

『谷戸沢処分場における動植物の変遷に関する調査報告書』を作成しました！

森林生態系の上位種であるフクロウが、2年連続、谷戸沢処分場の樹林環境を利用し営巣・子育てしていることは、同処分場に「里山の自然環境」が再生したことを示しています。

この度、組合では、埋立当初からの動植物のモニタリング調査結果や自然再生の取組についてまとめた報告書を作成しましたので、ご覧いただければ幸いです。



[谷戸沢処分場における動植物の変遷に関する調査報告書 \[PDF:14MB\]](#)

巣箱内でのフクロウの様子（5月12日、ふくろう巣箱カメラで撮影）

ふくろう巣箱カメラ（谷戸沢処分場）



5月14日に巣立ったフクロウのヒナ（5月16日撮影）

